

科目名	地域・在宅看護論実習	単位数・時間数	2 単位 90 時間	開講年次	3 学年
担当講師名	専任教員、実習指導者		実習場所	福祉センター 訪問看護ステーション 介護老人保健施設 老人福祉施設	
目的	保健医療福祉活動の実態をとらえ、地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、看護の果たす役割を認識し、看護実践に必要な知識・技術・態度を養う				
到達目標	【福祉センター実習】 1. 地域における保健・医療・福祉の実際を理解できる 【訪問看護実習】 1. 在宅療養を支える訪問看護制度の活用の実際を理解する 2. 在宅療養者と家族への援助活動の実際を通して看護の役割を理解する 【介護老人保健施設・老人福祉施設実習】 1. 介護老人保健施設・老人福祉施設で生活する利用者の健康上の問題と看護の役割について理解できる				
実習内容・方法	【福祉センター実習】 4 日間 1. 保健所・市町村における機能と役割、公衆衛生活動の違いを事前学習する。 2. 地域の健康問題のニーズの把握方法と支援システムを知り、事業に参加する。 3. 行われている事業の法的根拠を明確にする。 4. 地域での継続看護の実際を見学する。 【訪問看護実習】 2 日間+ 2 日間実践活動外実習 1. 在宅療養者とその家族の療養上のニーズを把握する。 2. 訪問看護の必要性を考え援助計画を立案する。 3. 訪問看護師の役割とマナーについて事前学習し、在宅療養者とその家族との信頼関係の構築の実際を知る。 4. 日常生活援助は訪問看護師の指導の元、実践する。 5. 医療処置に伴う援助は見学し、状況や対象者に合った方法で行われていることを知る。 6. 緊急時の対応や相談方法、医師との連絡・相談の実際を知る。 【介護老人保健施設】 2 日間 【老人福祉施設】 2 日間 【通所サービス】 1 日間 1. 各施設の役割と機能について事前学習し、実際の機能と活動について知る 2. コミュニケーションや、日常生活援助を実施しながら、利用者の特徴を知る。 3. 生活の中での安全管理について考える。 4. 日課や行事への参加、日常生活援助を通し、利用者の自分らしい生活のための援助について理解する。 5. 各施設の役割から、保健医療福祉チームの連携、協働の実際を知る。 全ての実習終了後、在宅で暮らす人々を支える保健医療福祉チームの連携、協働についてカンファレンスを行い、自己の考えを深める。				
備考	詳細は、実習要綱を参照する				
成績評価方法	実習評価表に基づき評価する				